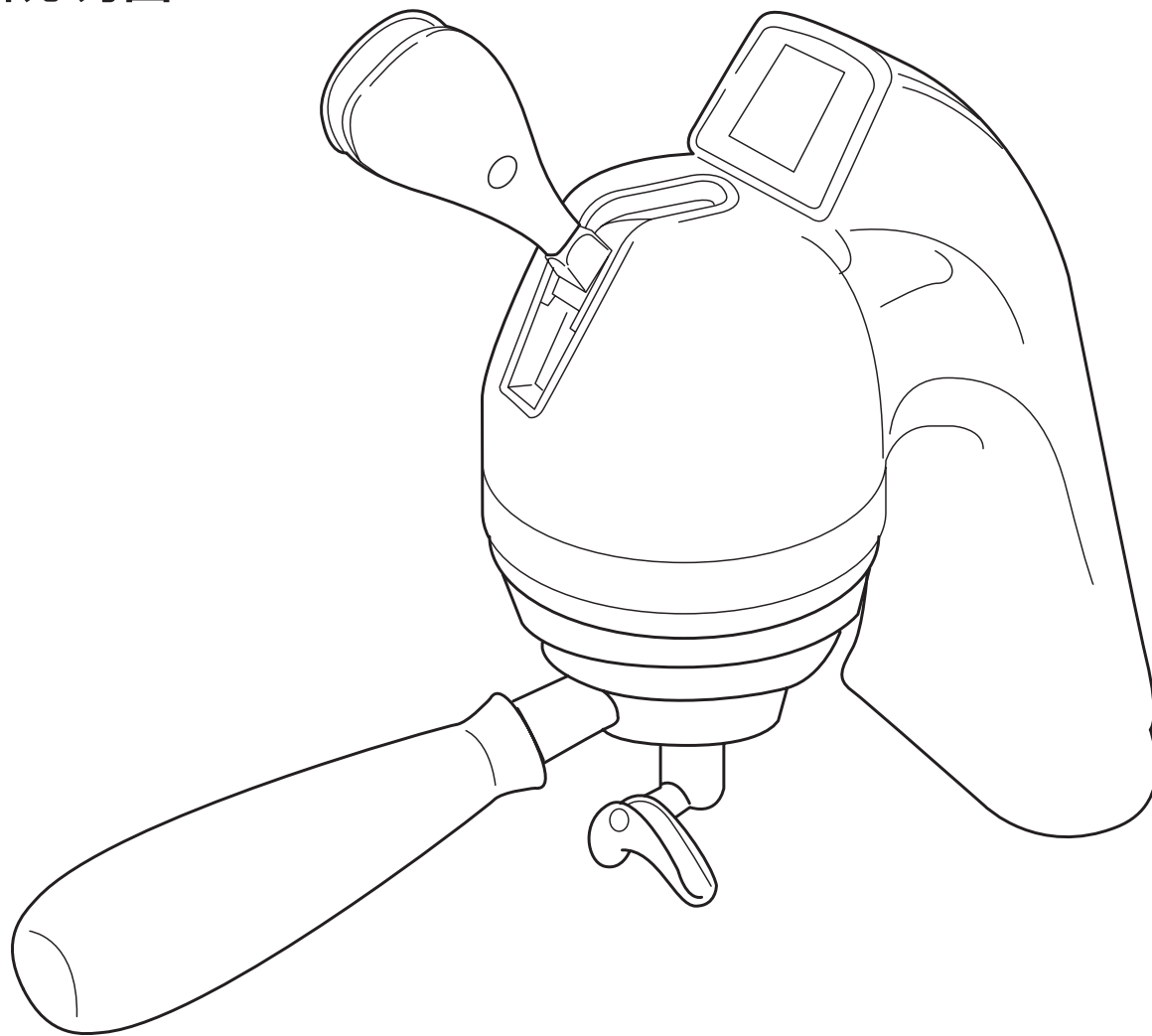


Espresso System

取扱説明書



目 次 頁

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 各部の名称	3
● 操作方法	4
始業時の準備	4
抽出方法	4
終業時手順	4
● 画面表示	5 ~ 9
● 調整	10
● お手入れ	11
● 故障かな?	12
● 仕様	12
● 製品保証書、無料修理規定	裏表紙

このたびは modbar Espresso System をお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1.5m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

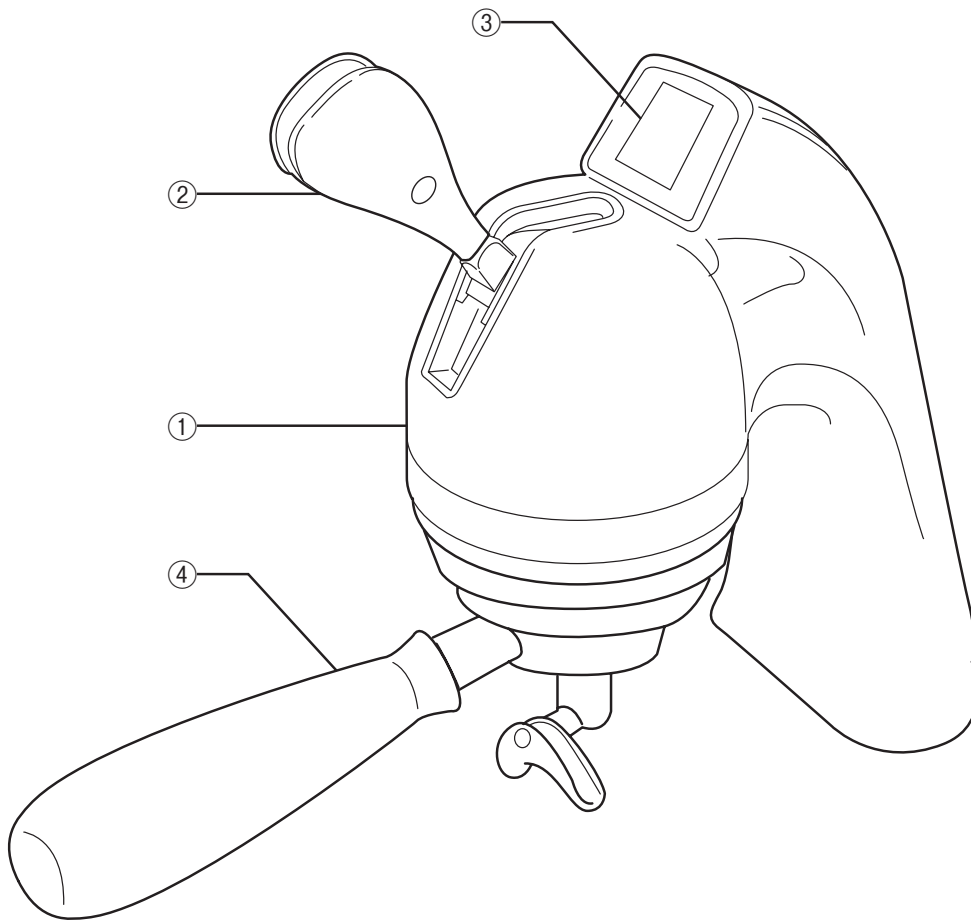
営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

断水の際はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

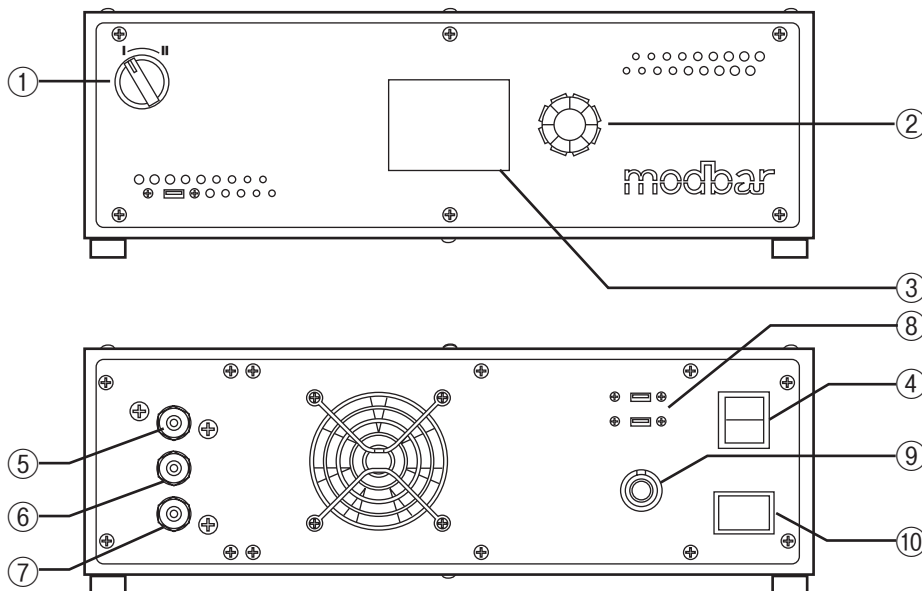
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

各部の名称とはたらき



【抽出部】

- ① エスプレッソ抽出装置
- ② レバーハンドル
- ③ ディスプレイ
- ④ ポルタフィルター



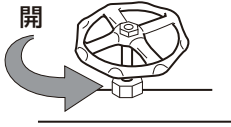
【モジュール部】

- ① ヒータースイッチ
- ② ジョグダイヤル
- ③ タッチディスプレイ
- ④ 電源スイッチ
- ⑤ エスプレッソタップ接続部
- ⑥ 給水接続部
- ⑦ 排水接続部
- ⑧ USBポート
- ⑨ エスプレッソタップケーブル接続部
- ⑩ 電源コード差込口

操作方法

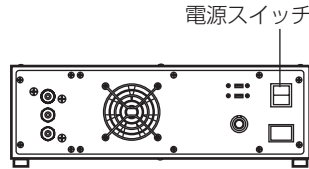
始業時の準備

- 1** 水道の元栓を開きます。

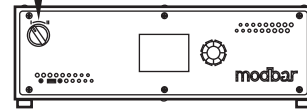
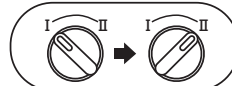


- 2** モジュール部背面の電源スイッチを「I」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0

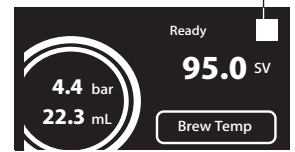


- 3** モジュール部前面左のヒータースイッチを「II」の位置に回します。



- 4** 約5分後、モジュール部ディスプレイの準備完了インジケータが赤から緑に変われば適温です。

準備完了インジケータ



抽出方法

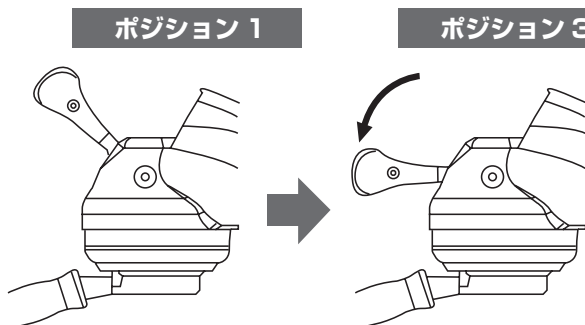
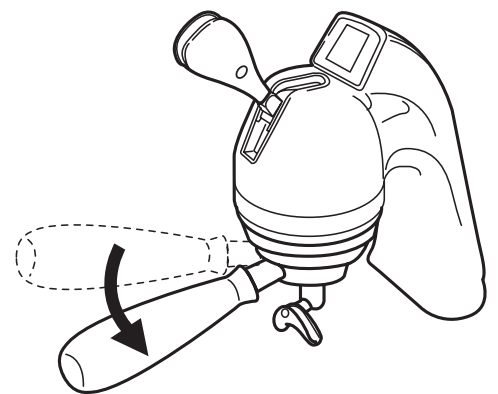
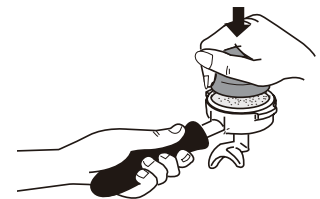
- 1** ポルタフィルターが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、オートリンス（11 ページ参照）や抽出動作を行い、熱湯だけを出し、ポルタフィルターをあらかじめ温めてください。

- 2** ポルタフィルターのフィルターバスケット内に、適量のコーヒー粉を入れてください。

- 3** フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

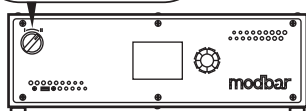
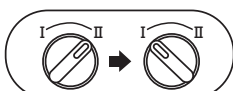
- 4** ポルタフィルターを左約 40° 位の方向よりエスプレッソ抽出装置に入れ、右方向へ止まるまで回してください。

- 5** 抽出口の下にカップを置き、コーヒーボイラー温度の適温を確認し、レバーハンドルをポジション 3 に押し下げて抽出してください。



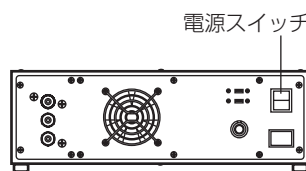
終業時手順

- 1** モジュール部前面左のヒータースイッチを「0」の位置に回します。

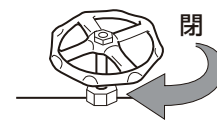


- 2** モジュール部背面の電源スイッチを「0」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0



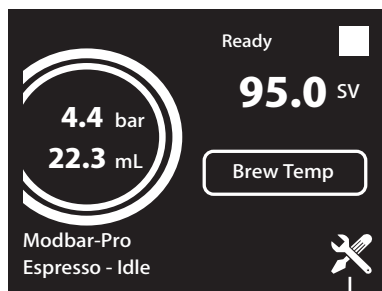
- 3** 水道の元栓を閉めます。



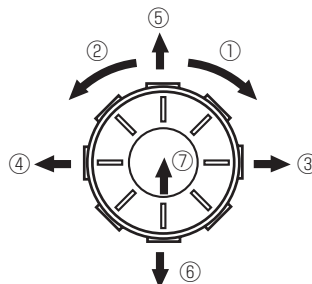
画面表示

画面表示ツリー

■ホーム画面



■ジョグダイヤル



- ① 右に回す…数値は 1 ずつ増加
- ② 左に回す…数値は 1 ずつ減少
- ③ 右に押す…数値は 10 ずつ増加
- ④ 左に押す…数値は 10 ずつ減少
- ⑤ 上に押す…数値は 0.1 ずつ増加
- ⑥ 下に押す…数値は 0.1 ずつ減少
- ⑦ 押す……決定

●文字入力

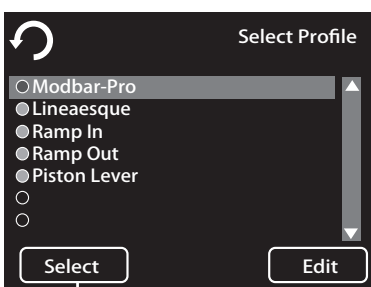
①②左右に回すとアルファベット (a~z)、-、.、0~9 の順に表示されます。

⑤⑥上下に押すとアルファベットは大文字で表示されます。

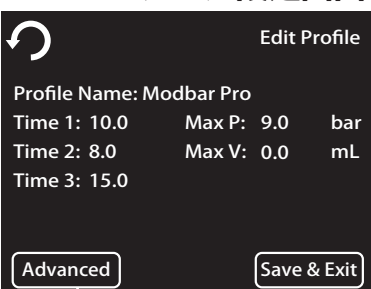
■プログラム画面



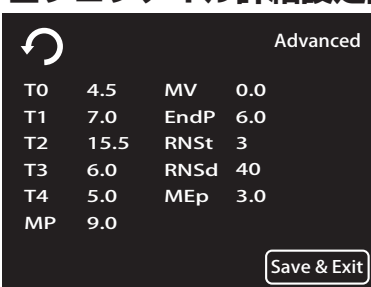
■プロフィール選択画面



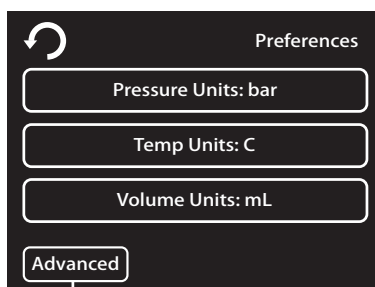
■プロフィール設定画面



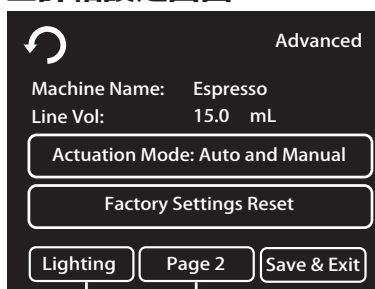
■プロフィール詳細設定画面



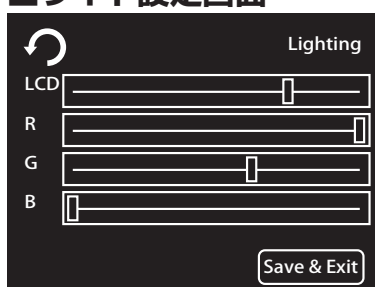
■基本設定画面



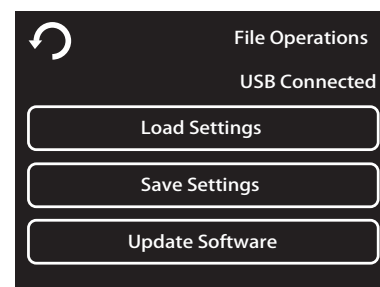
■詳細設定画面



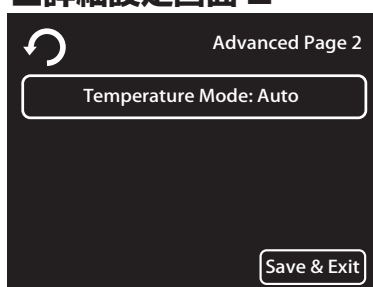
■ライト設定画面



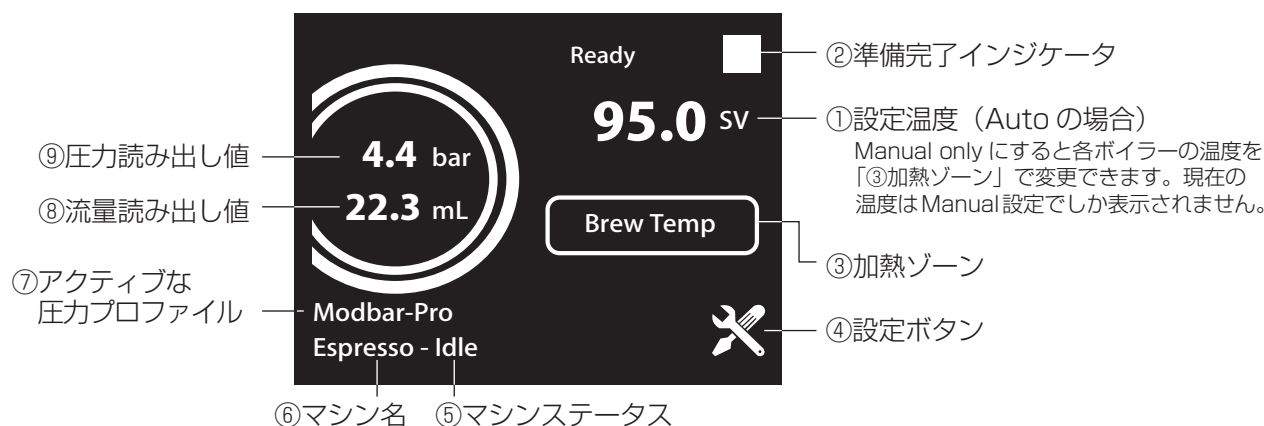
■バージョン設定画面



■詳細設定画面 2



ホーム画面



- ①設定温度 : アクティブな加熱ゾーンの現在の設定温度の値。
設定温度を変更するには、画面上の赤で表示されている数値にタッチします。数値がハイライト表示に変わり、変更可能となりますので、ジョグダイヤルにて数値を変更してください。
右に回す…数値は 1 ずつ増加します。
左に回す…数値は 1 ずつ減少します。
右に押す…数値は 10 ずつ増加します。
左に押す…数値は 10 ずつ減少します。
上に押す…数値は 0.1 ずつ増加します。
下に押す…数値は 0.1 ずつ減少します。
ジョグダイヤルの中央を押すと、変更が保存されます（上記の操作で変更した温度は、現在選択しているプロファイルに保存されます）。
- ②準備完了インジケータ : 正方形のアイコンでマシンが使用できる温度になっているかどうかを表します。
マシンの電源を入れたら、すべての温度ゾーンが設定温度に達するまでインジケータは赤（Heating）で表示されます。設定温度まで達すると、インジケータは緑（Ready）に変わり、抽出できる状態であることを表します。
- ③加熱ゾーン : 自動温度モードでは、このボタンは使用できません。
手動温度モードでこのボタンを押すと、エスプレッソシステムの 3 つの加熱ゾーン、つまり、インレットボイラー、アウトレットボイラー、グループヘッドが順番に表示されます（9 ページの「詳細設定画面」を参照してください）。
- ④設定ボタン : 基本設定画面を表示します。
- ⑤マシンステータス : 本体とタップの現在のステータスを表示します。
- ⑥マシン名 : マシンの名前を表示します（詳細設定でユーザが変更可能）
- ⑦アクティブな圧カプロフィール : 現在選択されている圧カプロフィールを表示します。
- ⑧流量読み出し値 : 抽出動作時（手動、自動、リンス）のリアルタイムの流体容量情報を表示します。
- ⑨圧力読み出し値 : 現在のボイラー圧力を表示します。

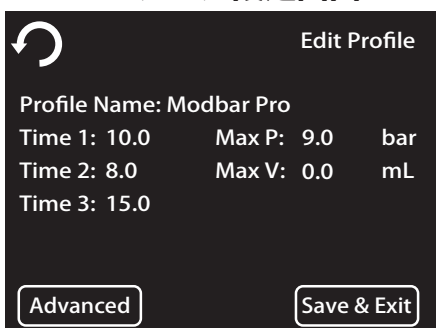
画面表示

プロフィール選択画面

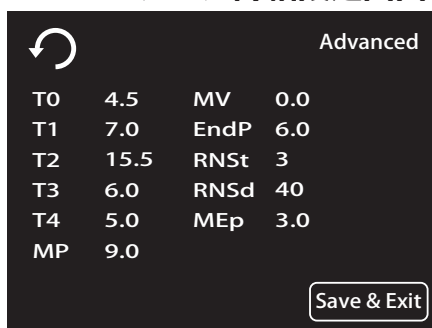


- ①戻るボタン : 前の画面に戻ることができます。
- ②アクティブプロフィール : エスプレッソタップレバーを自動抽出ポジションにしたときに使用されるアクティブなプロフィールで、青色で塗りつぶした丸で示されます。
- ③非アクティブプロフィール : プロファイルデータは設定されているが現在アクティブではないプロフィールで、灰色で塗りつぶした丸で示されます。
- ④空のプロファイル : 何も表示されていないプロフィール欄で、プロフィールデータが入力されるまで使用できません。空のプロファイルは塗りつぶされていない丸で示されます。
- ⑤プロフィールの選択 : カーソルで選択している状態でプロフィール選択ボタンを押すと、プロフィールがアクティブプロフィールに設定されます。
- ⑥プロフィールの編集 : カーソルで選択している状態でプロフィール編集ボタンを押すと、プロフィール設定画面になりプロフィールデータを編集できます。
- ⑦カーソルで選択中 : カーソルで選択されているプロフィールを示します。プロフィールのリストは、ジョグダイヤルを回して、または上下に動かして移動できます。ジョグダイヤルの中央を押すと選択したプロフィールがアクティブになります。

■プロフィール設定画面



■プロフィール詳細設定画面



変更したい数値をタッチしてジョグダイヤルにて数値を変更してください。

プロフィールの選択時、このメニューはタップのディスプレイにも表示されます。設置している本体とタップとの距離にもよりますが、タップのディスプレイでメニューを移動し、つまみのボタンを使ってプロフィールをスクロールできます。つまみの中央のボタンを押すと、タップのディスプレイ上でプロフィールがハイライトされます。この中央のボタンでは、ホーム画面からプロフィール選択メニューに移動することもできます。

圧カプロフィール

エスプレッソシステムの圧カプロフィール機能は、「簡易」または「詳細」モードでプログラムできます。いずれのモードでも、専用の設定画面があります。目標とする抽出特性が得られるプロフィールを作成するには、それぞれの変数の意味や関係について理解することが重要です。

■プロフィール設定画面

Edit Profile

Profile Name: Modbar Pro

Time 1: 10.0 Max P: 9.0 bar

Time 2: 8.0 Max V: 0.0 mL

Time 3: 15.0

Advanced Save & Exit

■プロフィール詳細設定画面

Advanced

T0 4.5 MV 0.0

T1 7.0 EndP 6.0

T2 15.5 RNSst 3

T3 6.0 RNSd 40

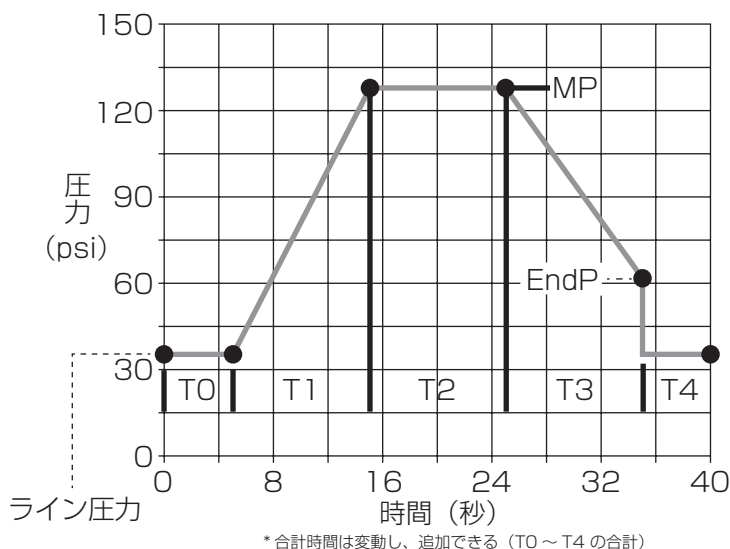
T4 5.0 MEp 3.0

MP 9.0

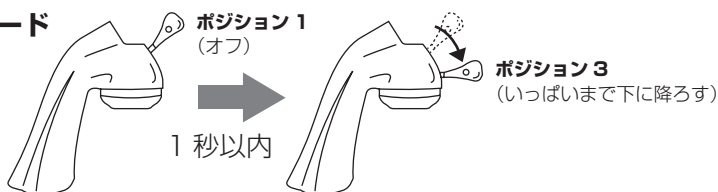
Save & Exit

本システムは幅広い機能を備えており、現在市販されているほとんどすべてのエスプレッソマシンや圧カ条件を再現できます。

以下のリファレンスガイドを参照すれば、「簡易」と「詳細」のいずれのプログラミングメニューインターフェイスでも問題なく設定できます。



自動モード



変数の意味

T0 - むらし時間 (加圧ポンプ稼働なし) (水圧のみ)

T1 - 水圧から最大圧力 (MP) までの到達時間 (加圧ポンプ稼働)

T2 - 最大圧力を維持する時間 (加圧ポンプ稼働)

T3 - 最大圧力から終了圧力 (EndP) (加圧ポンプ稼働)

T4 - 水圧に戻してからの抽出時間 (加圧ポンプ稼働なし)

MP - 最大圧力。
抽出中にポンプ圧が到達する最大圧力。
※ 手動抽出モードにも適用される。

MV - 最大容量 (デフォルト「0」)。
「0」に設定すると、容量の計測が実行されない。「0」より大きな値に設定すると、設定された水量が注入されると、自動および手動抽出サイクルが中断する。

EndP - 終了圧力。
水圧よりも高い圧力で設定できる。
継続時間「T3」の終了時に到達する圧力になる。

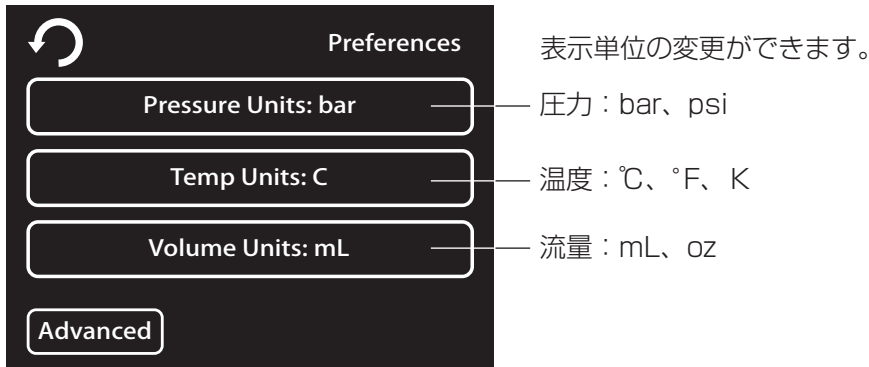
RNSst - リンス時間。
自動リンス機能を実行する長さ (秒単位)。

RNSd - リンスモーターパワー。
自動リンス機能で流れを起こすモーター速度の割合 (0 ~ 100%)。

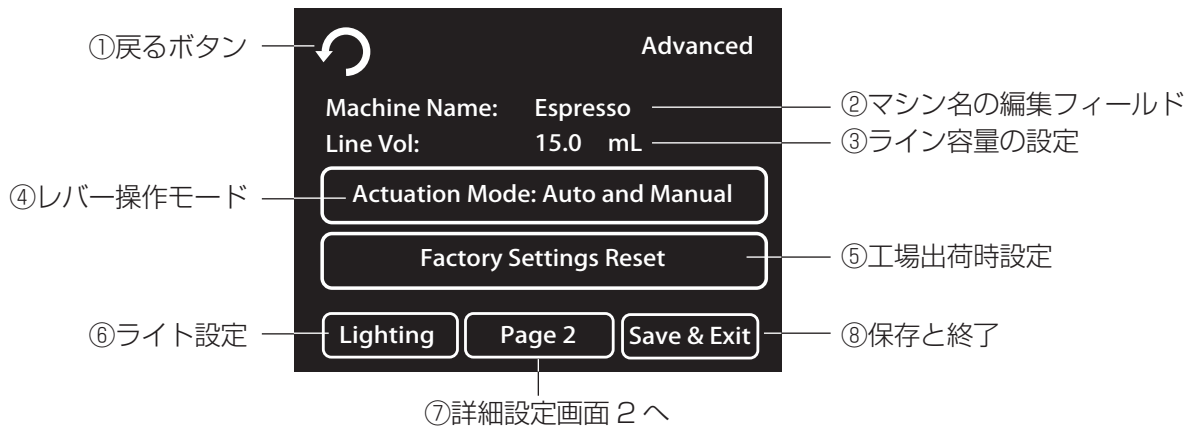
MEp - 手動終了圧力。
手動抽出モードの使用時にレバーハンドルをポジション3からポジション2に動かしたときに到達する圧力。

画面表示

基本設定画面

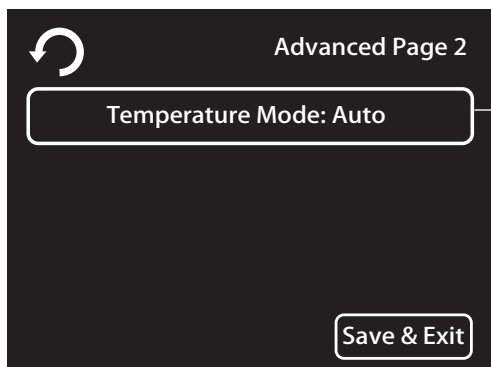


詳細設定画面



- ①戻るボタン : 前の画面に戻ることができます。
- ②マシン名 : 本体の説明的な名前。
名前にタッチしてフィールドをハイライトし、ジョグダイヤルにて変更できます。
- ③ライン容量 : この値は、エスプレッソシステムの本体とタップの間のラインにある水を調整するために使われます。また、コーヒーパックに吸収される水の損失を確認する場合にも使われます。ライン容量の設定は、同じ抽出プロファイルや容量計量設定を使っている 2 台のエスプレッソシステム本体のずれを訂正するのにも使用できます。たとえば、2 台の本体がどちらも 36mL を取り出すようにプログラムされていて、一方が他方よりわずかに取り出し量が多い場合、取り出し量の多い本体のライン容量設定を増やして最終的な量を調整できます。
- ④レバー動作モード : この設定を使い、エスプレッソタップのレバーハンドルの動作を制御します。
「Auto and Manual」自動圧カプロファイルモードと手動操作モードの両方を使うことができます。
「Auto」自動圧カプロファイルモードのみになります。
「Manual」手動操作モードのみになります。
- ⑤工場出荷時設定 : すべてのシステム設定を工場出荷時の値にリセットします。
注意：保存していたすべての圧カプロファイルとその他の設定は失われます。
確認画面が表示されるので、工場出荷時設定に戻す操作を確定してください。
- ⑥ライト設定 : ライト設定画面に移動します。
- ⑦詳細設定のページ 2 : 詳細設定画面 2 に移動します。
- ⑧保存と終了 : 設定の変更を保存し、現在表示されている画面を終了します。

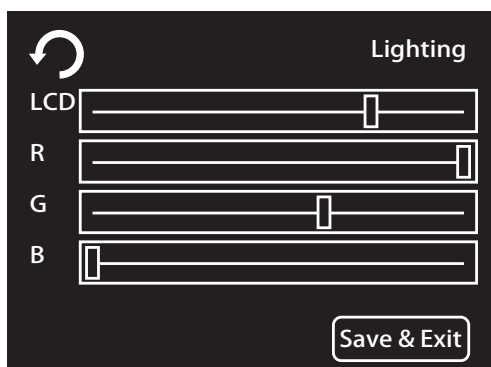
詳細設定画面 2



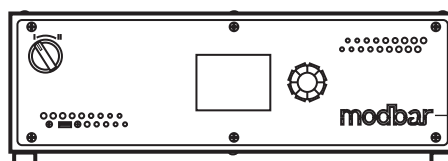
ボイラーの温度制御を選択できます。

- ・ Auto の場合
Brewhead、Inlet、Outlet の 3 ヶ所の温度を一括で温度管理することが可能です。
- ・ Manual の場合
Brewhead、Inlet、Outlet の項目を個別に設定できます。
Brewhead……20 ~ 99 SV
Inlet……………20 ~ 102 SV
Outlet……………20 ~ 102 SV

ライト設定

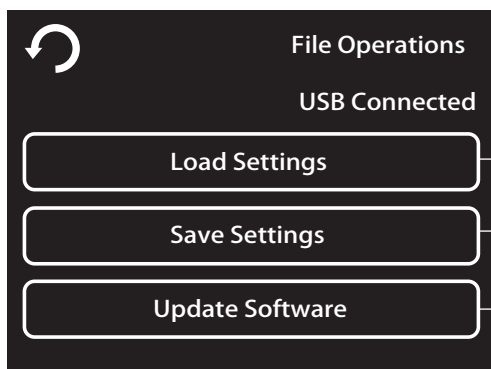


正面 LED ライトの色を変更することができます。



正面 LED ライト

バージョン設定



プロフィールデータを USB に保存して共有をすることができます。

プロフィールデータの読み込み


プロフィールデータの保存

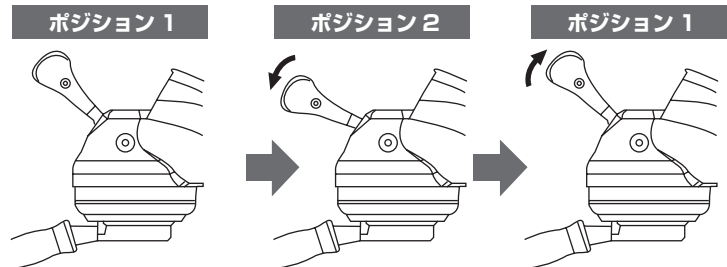
ソフトウェアの更新

お手入れ

オートリンス

レバーのポジションをポジション1から、素早くポジション2にレバーを移動し、再度素早くポジション1に戻すとオートリンスが開始されます。

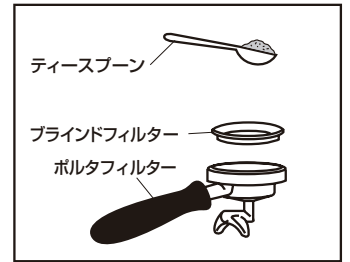
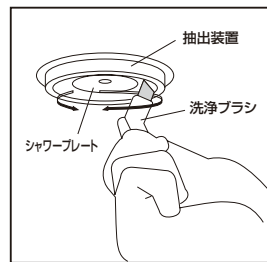
	Advanced			
T0	4.5	MV	0.0	
T1	7.0	EndP	6.0	
T2	15.5	RNSt	3	
T3	6.0	RNSd	40	
T4	5.0	MEp	3.0	
MP	9.0			
Save & Exit				



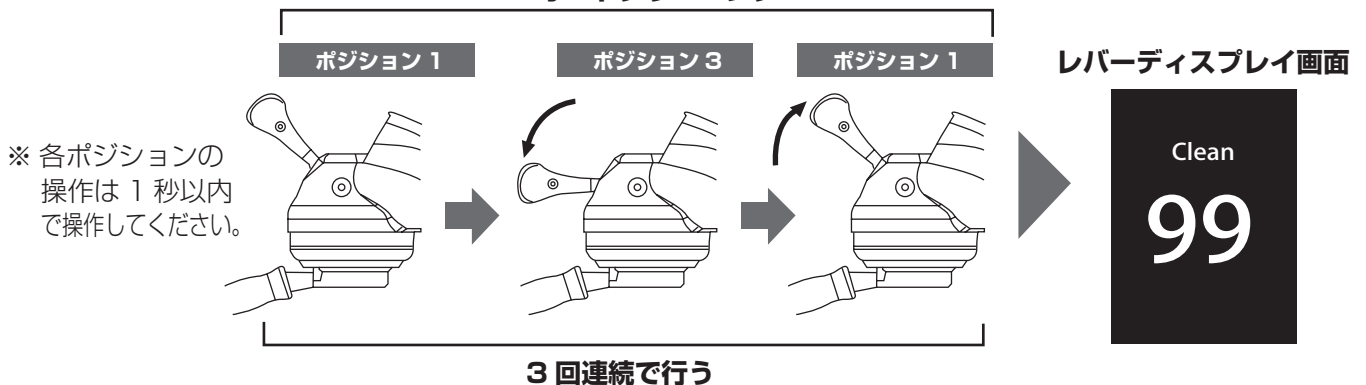
※ 各ポジションの操作は1秒以内で操作してください。

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 エスプレッソ抽出装置より、ポルタフィルターを外してください。
- 2 コーヒーカスを捨ててください。
- 3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。
- 4 ブラインドフィルターをポルタフィルターに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。
- 5 ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けて、レバーのポジションをポジション1から、素早く3に移動、再度ポジション1に戻す動作を3回連続で行うと、画面に「99」と時間が表示され、オートクリーニングが開始されます。



オートクリーニング



- 6 オートクリーニングの時間終了後、エスプレッソ抽出装置からポルタフィルターを外し、すすぎ洗いをしてください。
- 7 再度、ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けてオートクリーニングを実施してください。（抽出装置のすすぎ洗い）
- 8 ポルタフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

故障かな？ & 仕様

故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

■本体が加熱しない

ヒータースイッチがⅡの位置にあるか確認してください。

■タップでディスペンシング（一定量の注入）が行われない

本体への給水がオンになっていることを確認します。

水道の元栓が開いているか確認してください。

また、タップと本体の間の給水チューブにねじれなどが無いことを確認します。タップのディスプレイが正しく機能していることを確認します。機能していない場合は、タップの電気接続を確認します。

■ポンプの圧力が超過する

プロファイルのプログラムで、T1 の時間が2 秒以上になっていることを確認します。

2 秒未満の場合は、圧力の到達が速すぎるためにポンプが異常動作することがあります。

仕 様

形 名	ESPRESSO SYSTEM	
電 源	単相：200V	
消 費 電 力	3,300W	
重 量	モジュール	16kg
	タ ッ プ	11.3kg
ボ イ ラ ー 容 量	1.2L	
寸 法	Tap 部分：W137×D300×H296mm Mod 部分：W406×D415×H136mm タッチスクリーンサイズ：3.2 インチ	

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より1年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 () -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 () -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - * この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン 株式会社

事業所については
こちらをご覧ください

